

本日の説明内容について

1. 農業職としてのこれまでの体験談
2. 現在の業務内容についてー仕事の内容やテレワークなどー
3. ワーク・ライフ・バランスについて
4. 最後に、本日参加してくれた皆様へ
5. 質疑応答（約15分）

1. 農業職としてのこれまでの体験談①

○ 県北農林事務所経営・普及部門（常陸太田地域農業改良普及センター） （常陸太田市：H28年度～H30年度：3年勤務）

■ 担当業務

- ・ **若手農家組織(4Hクラブ)**の運営支援
- ・ 花き農家に対する技術指導

■ 配属が決まったときの印象

- ・ 常陸太田市ってどこだろう？（県南出身のため全く土地勘無し）

■ やりがい

- ・ 農家から「ありがとう」と感謝され、役に立てたと実感できる瞬間は最高です。

■ 苦勞したこと

- ・ 農家や関係機関（市町村・JA等）との信頼関係の構築
（知識・経験不足をどう補うか）



常陸太田普及センターでの業務内容・支援対象

常陸太田4Hクラブの活動支援



小ギク農家に教えを乞う



シクラメン農家の対面販売



道の駅ひたちおおたの花壇は実は農家たちが整備！



普及配属になると1年目は農家研修！（4農家×5日間）



ブドウ農家での研修
(常陸太田市は有名なぶどうの産地)



田植え時期の若手農家
(2人で60haを営農)



シクラメン農家の生産現場での1枚



研修後、検鏡にて同定

1. 農業職としてのこれまでの体験談②

○笠間地域農業改良普及センター

(笠間市：R元年度～R3年度：3年勤務)

■担当業務

- ・ **花き農家（小ギク、枝物）** に対する技術指導
- ・ 青年農業士（県認定農家）の活動に係る支援

■配属が決まったときの印象

- ・ 花き専門として大産地を担当することのプレッシャー

■やりがい

- ・ 産地では求められるレベルが高いため、この産地で感謝されることは自分の自信につながった

■苦勞したこと

- ・ 求められるレベルが高い
- ・ 農家や関係機関（市町村・JA等）との信頼関係の構築
- ・ 大産地ならではの全体の総意を組んだ取組支援 等

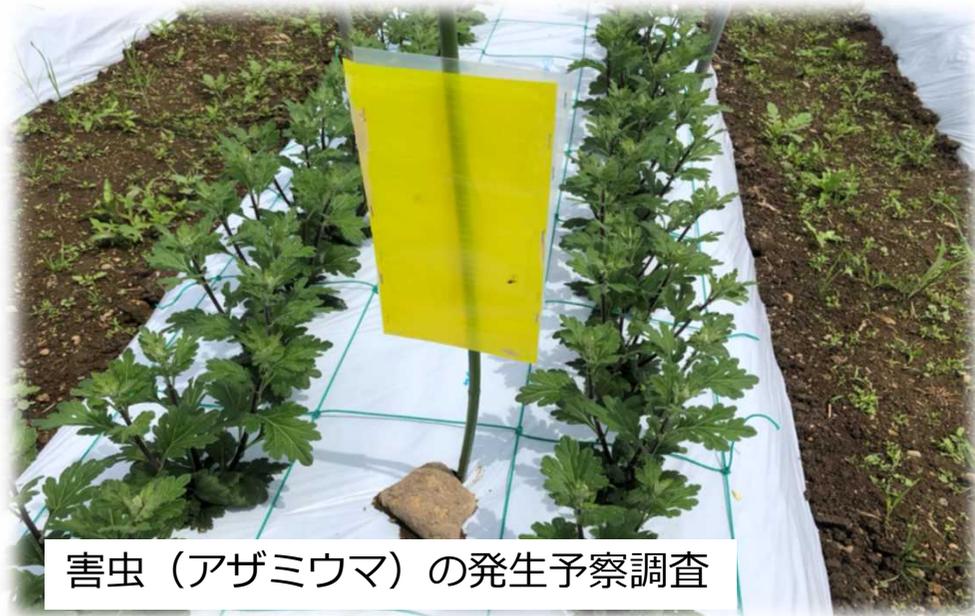
笠間地域はキクの大産地！



スプレーギクの生産ほ場



小ギク新品種の栽培試験



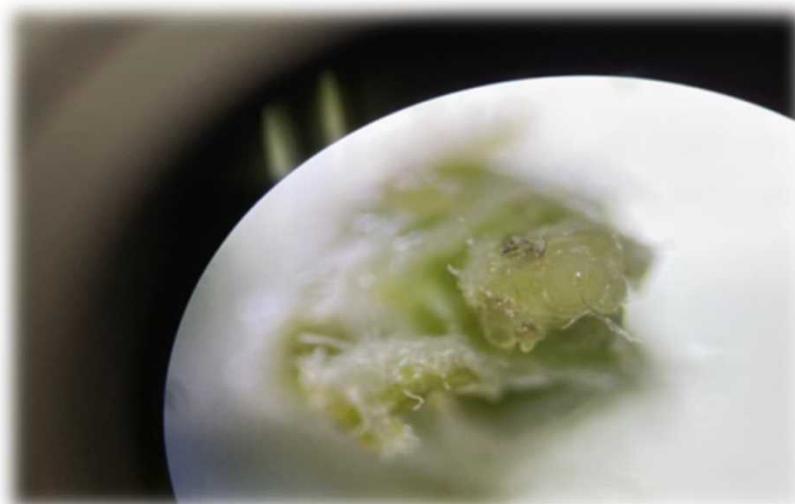
害虫（アザミウマ）の発生予察調査

1年目 経営支援の流れ（R元年）

普及センターへの依頼事（年度初めの4月）

「輪ギクの花芽検鏡をお願いしたいです」

技術的な支援
きっかけ
チャンス



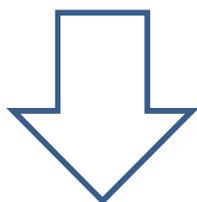
ご挨拶を兼ねて、訪問で結果を返却。
丁寧に説明。資料は写真付きで見やすく。

その後も年間4、5回の検鏡を実施

2年目 経営支援の流れ（R2年）

新型コロナウイルスの感染拡大により
輪ギクを含む花き類が大打撃を受けた年

Tさんの上半期分の販売額
前年比66%



「さすがに落ち込みました…補助を申請したいので書類作成を手伝ってもらえますか？」

コロナ関連の補助金申請を支援

持続化給付金
高収益作物次期作支援交付金

1年目、2年目を通して

花芽検鏡 (技術的支援)
補助金申請 (行政的支援)



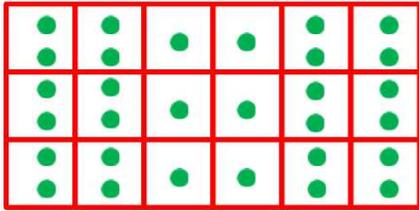
農家：「ありがとうございました」



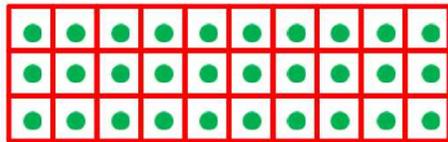
どちらも農家に役に立つことを心がけ、信頼を得た。
どんな人でも相談事や悩みがあり、
それに応えるというスタンスで活動した。

輪ギクにおける定植方法の改善

フラワーネット: 15cm × 6 目 = 90cm



フラワーネット: 12cm × 10 目 = 120cm



2. 現在の業務内容について

○農林水産部 農業経営課（R4年度～） （水戸市：県庁）

■主な担当業務

- ・ **農地の集積・集約化の推進**（農地中間管理機構との連携）
- ・ 農業経営基盤強化促進法に関すること
（法律に基づいた地域計画等の作成支援）

■やりがい

- ・ 補助事業（農家が農業を営むうえで必要な農地貸借に係る補助金の支援）を通じて、農家の役に立てる

■苦勞したこと

- ・ 初めての行政部署で、右も左も分からない
（先輩や上司に助けられ、非常に感謝）
- ・ 農家や関係機関への補助事業の正確かつ迅速な周知

地域計画のパンフレット作成

「地域の農地」をみんなで守ろう!

将来の農地利用を「**目標地図**」に地域の将来方針を「**地域計画**」にまとめます!

令和7年3月末まで

「地域計画」は地域農業の将来図!

- 1 地域で話し合う場（座談会・協議の場）を作る**
地域の農地の耕作者や地権者、市町村職員、農業委員会、JA、県等の関係者が集まりましょう。
- 2 将来の農地利用を行う区域を決める（耕作できる農地・できない農地）**
現況の地図などを基に、地域の課題等を整理し、将来的に農地をどのように活用していくか参加者で話し合いましょう。山間部や鳥獣害の被害により耕作の難しい農地では、保全管理等の取組も視野に入れます。
- 3 「耕作できる農地」を将来的に誰が耕作するのかを考える**
耕作できる農地を、概ね10年後に誰が耕作するのかを話し合います。規模拡大意向のある担い手やリタイアを考えている兼業農家等、皆さんの予定を照らし合わせ、集積・集約化も視野に入れます。
- 4 話し合いの結果をもとに地域計画を策定**
地域で話し合った農地利用の課題や地域農業の将来方針を取りまとめて「地域計画」を策定します。
策定した「地域計画」は市町村で公告します。また、必要に応じて話し合い等を繰り返し、変更・更新することも可能です。

現況地図を使った農地利用の話し合い

話し合いでは、農地の集積・集約化も視野に!

国の詳細はコチラから

地域計画

連絡先

お近くの、市町村農政主管課・農業委員会事務局
または、管轄の県農林事務所企画調整課・茨城県農業経営課基盤強化G

■今までの普及センターとは全く違う業務内容!

■資料の作成を通じ、市町村や関係機関に情報提供

■市町村に事業を推進し、取りまとめ、国（農水省）へ申請（※補助金を扱うため、まさに「行政」といった感じ）

3. ワーク・ライフ・バランスについて

- 水曜日・金曜日は定時退庁日。
- **フレックスタイム**で、16時退庁とする人もいる。
⇒自分のスタイルに合わせて勤務時間を変更可能。
- **テレワーク可能**
⇒資料作成等に本腰を入りたい場合に積極的に取得
⇒午前中だけ、午後だけ等のテレワークも可能。
- 女性はもちろん**男性の育児休暇**も加速化
(同僚も8か月の育児休暇を取得中)
- ★ 家庭環境に配慮された、また、仕事と家庭のバランスが取れた
とても働きやすい職場！

4. 本日参加された皆様へ

- 「農業職」の業務は、**普及・研究・行政・教育**（農業大学校）とバリエーション豊富
 - それぞれの業務で、最初は戸惑うこともあるかもしれませんが、心配ありません
→ **豊富な研修やOJT**により、一步一步ステップアップでき、気が付けば仕事を着実にこなせるようになっていきます！
 - 職場の同僚からの手厚いサポートもあります
- ★一緒に茨城の農業を盛り上げていきましょう！
皆さんと一緒にお仕事ができる日を楽しみにしています！

ご清聴ありがとうございました。